

闘い続けるアスリートを応援する
《水溶性マグネシウム》

Mag-on® (マグ・オン)

不足しがちなマグネシウムを素早くチャージ

毎日のトレーニングやレースでの発汗、ストレスなどにより失われる必須ミネラル「マグネシウム」を効果的に吸収。Mag-on®は、高純度の国産のマグネシウムを、素早く溶けて、吸収率の高い水溶性に加工した、アスリートのためのサプリメントです。

毎日必要な水分にマグネシウムをオン!

Mag-on®ラインアップに待望のドリンクタイプが登場。スポーツの前・中・後はもちろん、日々の生活の中の水分補給と併せてマグネシウムをとれる、新しいタイプのコンディショニングウォーターです。



NEW

10本入り ¥1,800(税別)
マグネシウム120mg
ドリンクパウダー
1本4g
フレーバー/ゆず、ライム

スティック1本を
500mlの水に溶かして飲む
ドリンクパウダー

ここぞ!というタイミングで ガツンとMgチャージできる決戦仕様

30包入り ¥6,900(税別) 8包入り ¥2,000(税別)
マグネシウム200mg
1包3.7g レモンフレーバー/顆粒タイプ
カルシウム、各種ビタミン類も配合



マグネシウムを一気に200mg、急速チャージできる決戦サプリとして人気

エネルギーと一緒にMgをとる おいしいエナジージェル

¥280(税別)
エネルギー120kcal 1個41g
マグネシウム50mg フレーバー/梅、グレープフルーツ



両フレーバーとも
甘過ぎず、ほど良い
酸味や苦みのある
飲みやすい味



今年8月のアイアンマン・ジャパンにも出場。2014年の自己ベストには及ばなかったが、Mag-onジェルと顆粒で脚のトラブルは回避できた



普段のトレーニングではMag-on Water(ドリンクパウダー)も愛用。この日も、バイクボトルにゆず味を1本入れて180kmのロングライドへ

憧れのコナに向けて
もう一歩前へ進むために。



Mag-on Your Challenge #011



アスリートの挑戦に、マグネシウムを

岩淵 京さん

トライアスリート
2014アイアンマン・ジャパン北海道
10時間36分



Takashi Iwabuchi

小中高大を通じて野球にのめり込み、そこで培われた体躯とメンタルをもって2012年、ミドルディスタンスでトライアスロンデビュー。翌年、五島長崎大会に挑戦し、現在はロングディスタンスを中心に活躍中。ミドル層が幅を利かせる日本において、貴重な若きトライアスリート。現在は強豪エイジグループが所属するクラブチーム「TRION」に所属しながらアイアンマン・ハワイを目指す。東京都出身、27歳

一般的にトライアスロンの特にエイジグループは、30歳を過ぎたあたりから増えはじめ、30歳中頃から45歳あたりが一番のボリュームゾーンになる。多少の語弊はあるかもしれないが、オyajのスポーツと言っても言い過ぎではないだろう。

岩淵京さんはまだ27歳。学生時代に続けてきた野球のおかげかもしれない。トライアスロンデビュー後、若いレースも経験はしたが、わずか3年のキャリアでアイアンマン・ハワイを目指せる位置に付けている。

「初めてのレースは、恩師の勧めもあって出場しました。勢いだけで出たせいか、辛い目に遭いました。あんな目に遭って、よく今も続けていると、自分でもそう思います(笑)」

もちろん続けてきたのは競技そのものに魅せられたこともあるだろう。でも、大きな理由は別にある。

「出場者の多くが40代くらいの人だったと思うんですが、みんなカッコ良かった。あの年代でこんなスゴいことに挑戦している姿が本当にカッコいいと思いました。自分もあなりたい。それが続けている大きな理由ですね」

ただし、続ける意思と若さはあっても肉体がついていけないこともある。岩淵さんの場合は、前モモに起こるトラブルだった。

「ランニングをすると必ずと言っていいほど脚が痛かったです。初めて出場した五島のレースでは、スイムの時点でもう危なかったですね」

レベルアップしたいなら身体のトラブルはなくしたほうがいい。ペテランぞろいのクラブメンバーから勧められたのが、マグ・オンだった。

「実感はすぐにあらわれませんでした。両脚にきていたトラブルもなくなり、不安なく練習や、レースができていますね。長く練習するときは特に顆粒タイプ(マグネシウム200mg)は欠かせません。あとはうまく練習をこなして、レースをコントロールできれば良い順位でフィニッシュできると思います」

目指すところは、アイアンマン・ハワイ。来年コナを走るためには、今の行動によって未来を創っていく必要がある。今度は、自分が憧れられる存在になるのだ。